



藤田観光株式会社  
2023年12月期 第1四半期  
決算説明資料

2023年5月11日  
藤田観光株式会社  
(証券コード：9722)

# 損益計算書



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

前期から引き続き回復する国内需要に加え、首都圏事業所を中心にインバウンド需要が回復し、  
前年比52億円増収、22億円増益、前四半期に続き1Q（1～3月）も四半期営業損益黒字

- ▶ WHG事業においては2019年4Q（10～12月）以来の四半期営業損益黒字化
- ▶ 当四半期において固定資産（ホテル鳥羽小涌園跡地）売却に伴う特別利益を計上
- ▶ 2019年比では27億円減収となるも、損益分岐点売上高が下がったことで7億円増益

(百万円)	2023年 1Q実績	2022年 1Q実績	前年比	<参考> 2019年 1Q実績	2019年比※
売上高	13,163	7,959	+5,204	15,896	▲2,733
WHG事業	7,297	3,752	+3,544	8,941	▲1,643
ラグジュアリー&バンケット事業	3,718	2,629	+1,089	5,015	▲1,297
リゾート事業	1,579	1,060	+519	1,337	+241
その他（調整額含む）	567	517	+50	601	▲33
営業損益	53	▲2,214	+2,268	▲653	+707
WHG事業	280	▲1,326	+1,606	342	▲62
ラグジュアリー&バンケット事業	▲36	▲515	+478	▲497	+461
リゾート事業	▲69	▲273	+203	▲323	+253
その他（調整額含む）	▲120	▲99	▲20	▲175	+55
経常損益	54	▲2,216	+2,271	▲769	+824
特別利益	627	842	▲214	28	+598
特別損失	19	-	+19	6	+12
税金費用等	9	▲57	+67	▲151	+161
親会社株主に帰属する四半期純損益	653	▲1,316	+1,969	▲595	+1,248

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

# 損益計算書 (売上・営業利益推移)



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

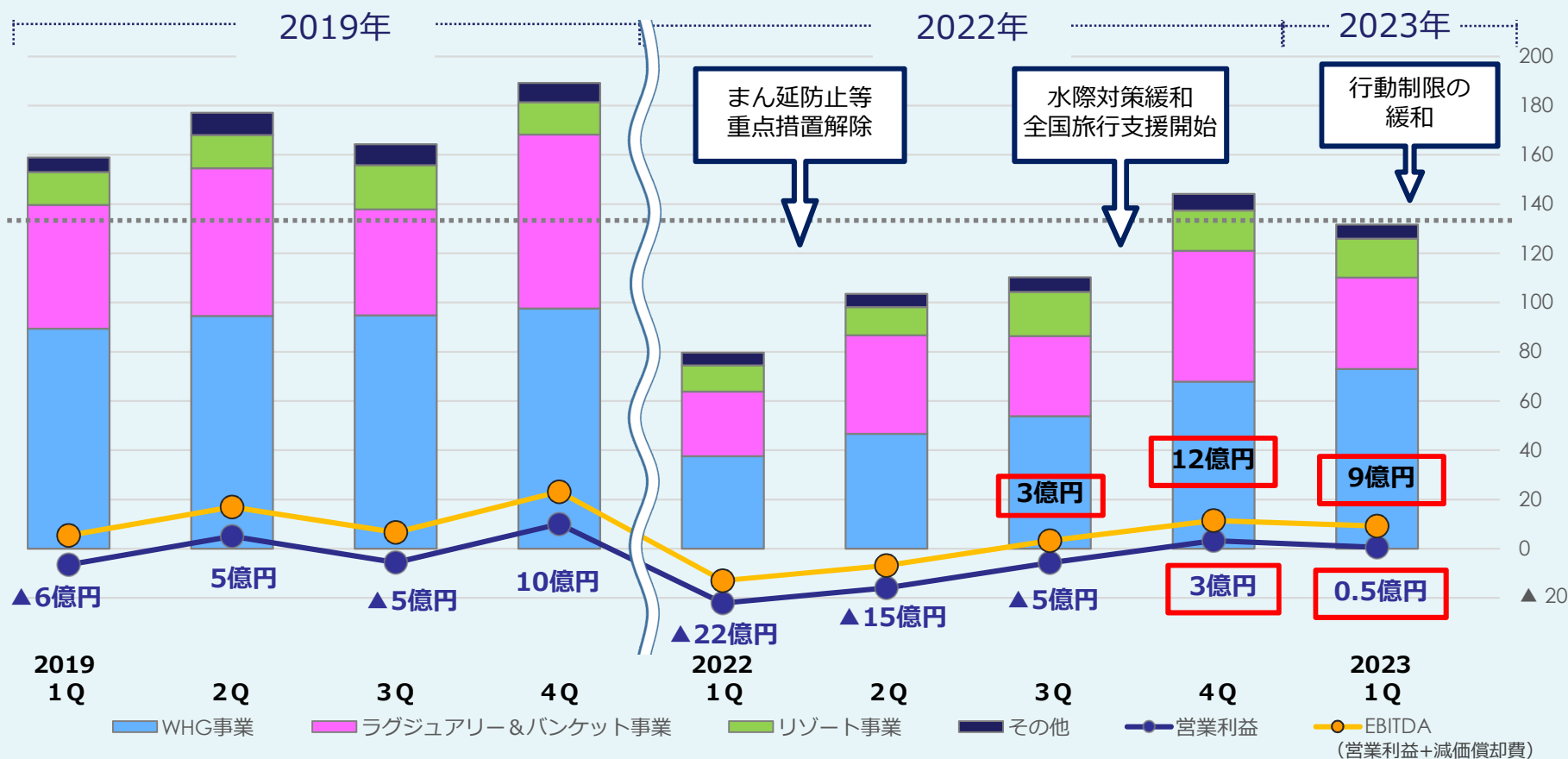
前四半期に続き営業損益黒字、EBITDA (営業利益+減価償却費) は3 四半期連続で黒字  
 ▶WHG事業においては2022年 1 Qから5 四半期連続増収

セグメント別1Q売上高 2019年比

WHG事業：82%、ラグジュアリー&バンケット事業：74%、リゾート事業：118%

## 売上高・営業利益推移

(億円)

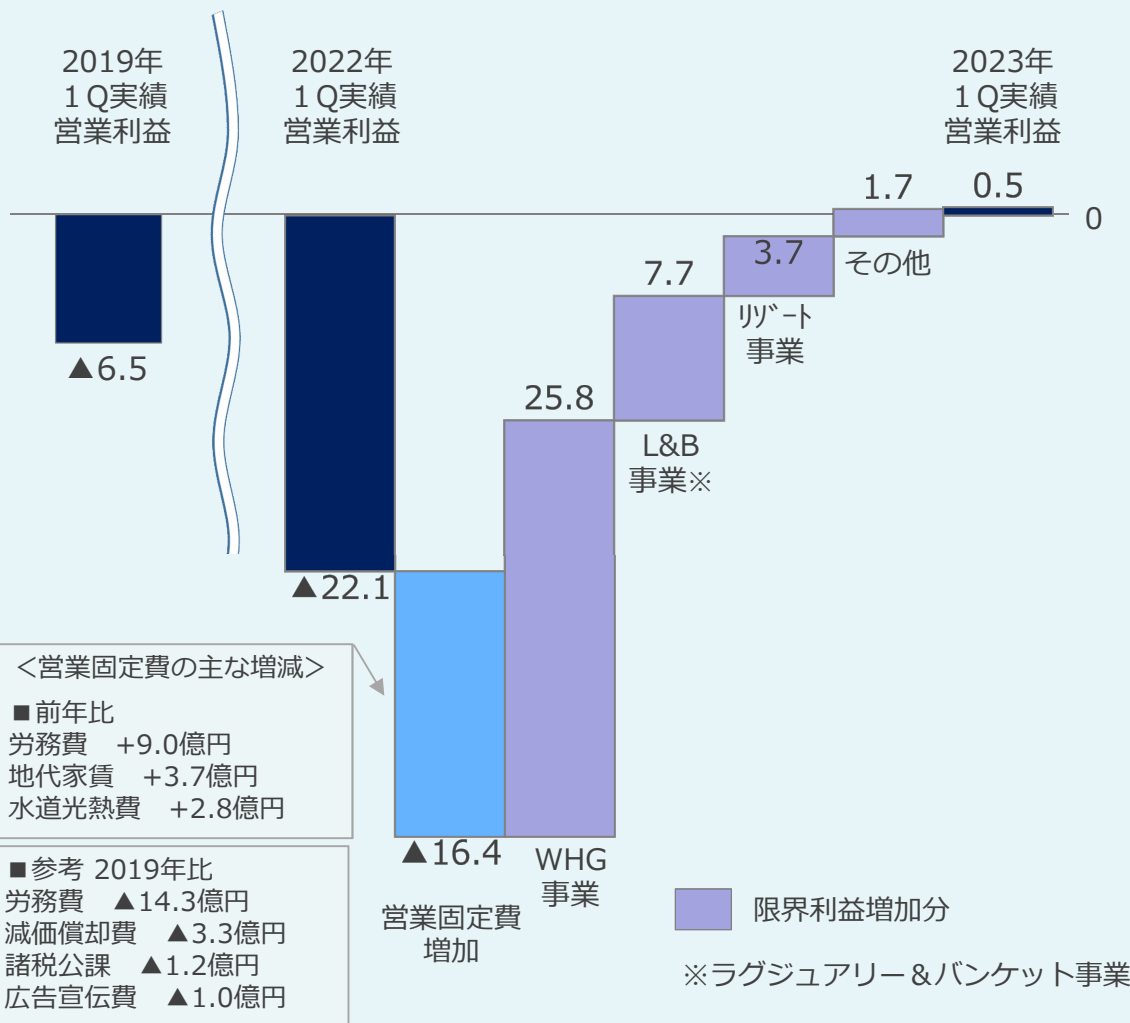


# 損益計算書 (営業利益増減要因)

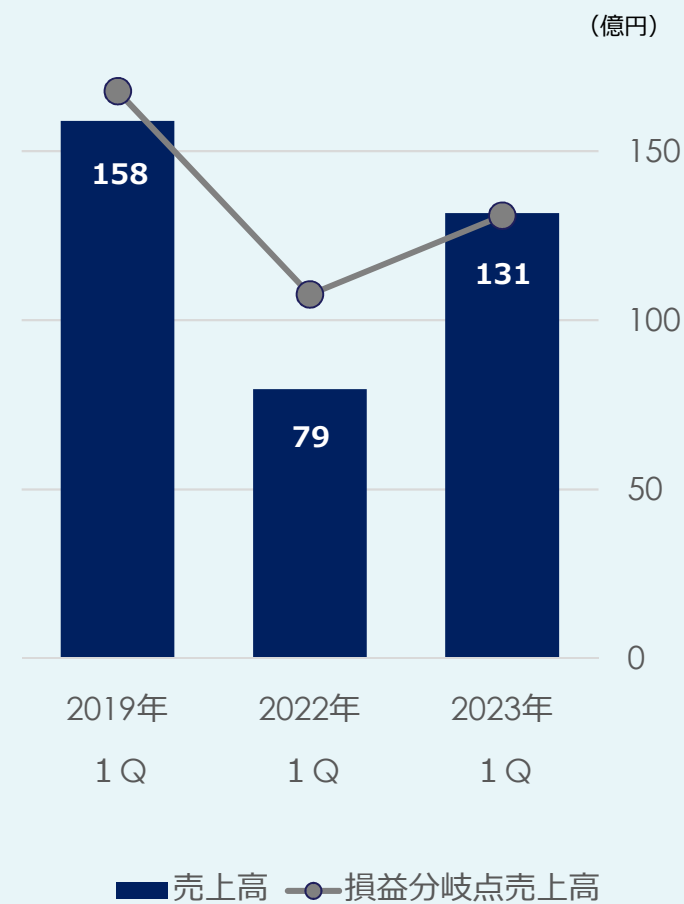


2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 営業利益 前年比増減要因



## 損益分岐点売上高の推移



# WHG事業 1Q概況



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 東京・大阪を中心にインバウンド宿泊者数が増加 1月から3月にかけてADR、稼働率が上昇

### <前年比>

- インバウンド需要の急回復により97%増収
- 特に「新宿ワシントンホテル」等の東京都内施設が増収

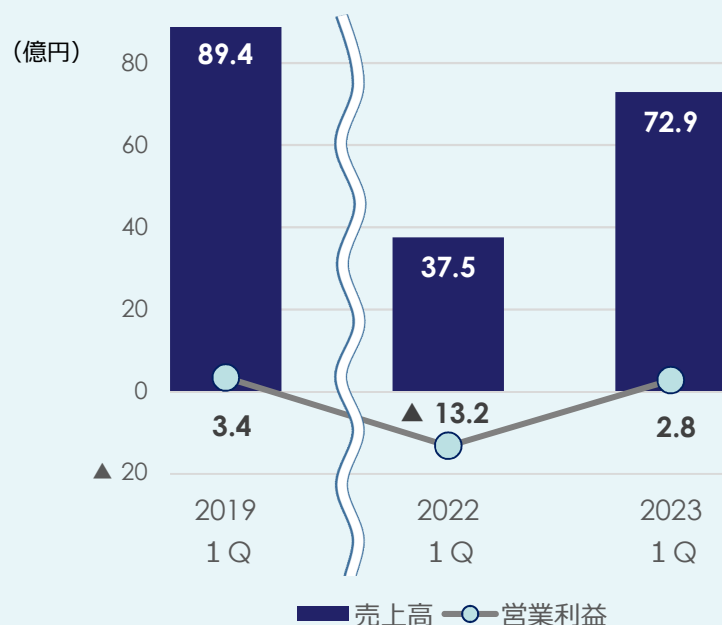
### <2019年比>

- インバウンド宿泊者数が2019年比▲28%まで回復、3月単月では上回る
- ADRが▲3.4%、稼働率は▲4.0%ptまで回復

#### 【行政への施設提供（一棟貸し）】

2022年1Q 2023年1Q  
4施設、合計2,294室 1施設、合計970室（2月まで）

### WHG事業 売上高・営業利益推移



### WHG 営業指標 前年・2019年との対比

1~3月	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
全体	+68.6%	+34.4%pt	▲3.4%	▲4.0%pt
東京	+89.9%	+39.6%pt	▲12.2%	▲0.2%pt
東京以外	+47.7%	+28.5%pt	+6.1%	▲8.5%pt

#### 2019年1Q→2023年1Q

営業終了・営業形態変更影響 売上高▲11.9億円

（横浜伊勢佐木町ワシントンホテル、関西エアポートワシントンホテル 他）

新規開業影響 売上高+6.9億円

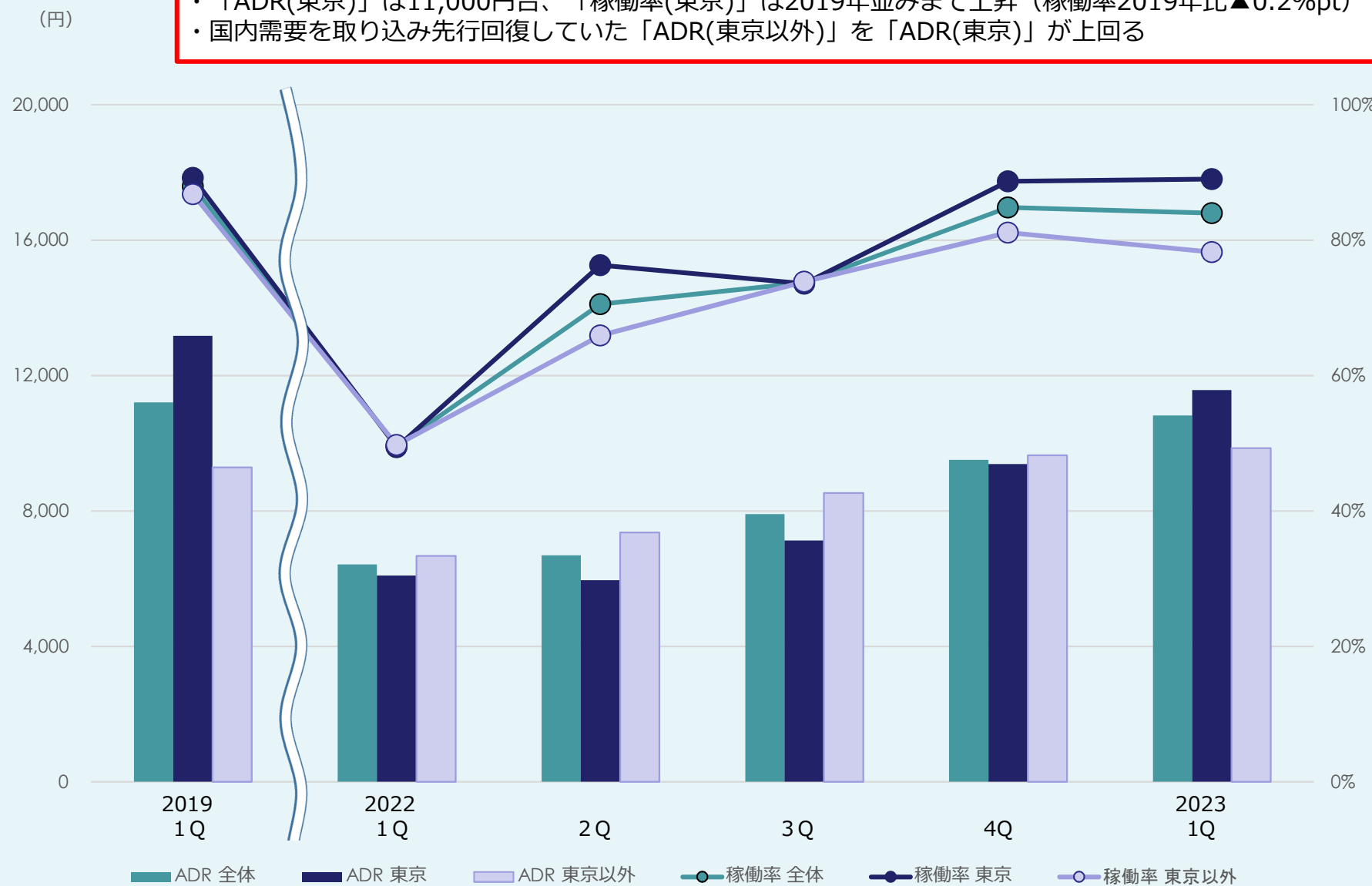
（ホテルグレイスリー台北・大阪なんば、ホテルタビノス浜松町・浅草・京都）

# WHG事業 ADR・稼働率推移



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

- ・国際便発着地である東京・大阪にインバウンド需要が集中
- ・「ADR(東京)」は11,000円台、「稼働率(東京)」は2019年並みまで上昇（稼働率2019年比▲0.2%pt）
- ・国内需要を取り込み先行回復していた「ADR(東京以外)」を「ADR(東京)」が上回る



# ラグジュアリー&バンケット事業 1Q概況



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 「ホテル椿山荘東京」の宿泊・宴会部門の利用人員が伸長し前年比41%増収 2019年比では12億円減収も営業損益は4億円改善

### 【ホテル椿山荘東京】

#### <前年比>

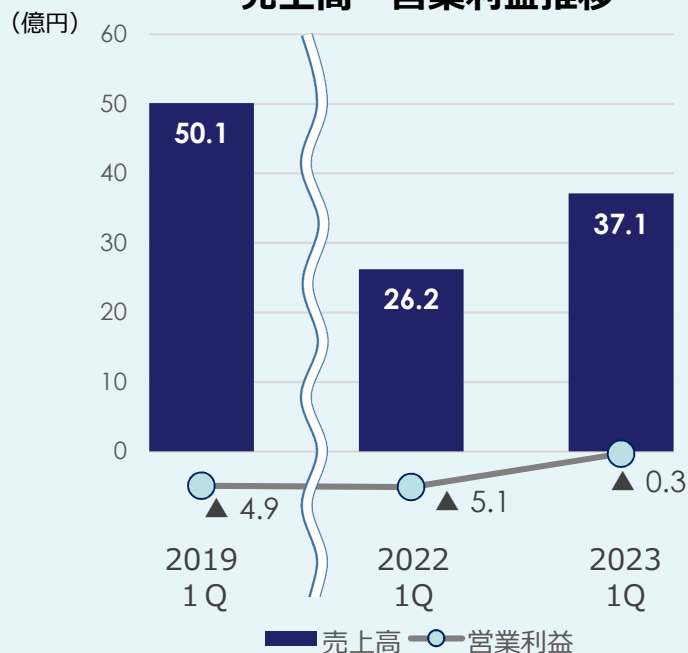
#### 全部門で前年比増収

- 宿泊部門：3月にインバウンドが急伸し90%増収
- 婚礼部門：1件あたり人員が回復傾向、7%増収
- 宴会部門：小規模宴会を中心に法人利用増加し167%増収
- 料飲部門：接待利用や桜期間の個人利用増加により36%増収

#### <2019年比>

- 宿泊部門はADR・稼働率ともに上回り27%増収
- 婚礼・宴会部門は1人あたり単価は上昇も利用人員が回復途上

### ラグジュアリー&バンケット事業 売上高・営業利益推移



### ホテル椿山荘東京 営業指標 前年・2019年との対比

1~3月	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
宿泊部門	+6.0%	+31.2%pt	+28.3%	+1.9%pt
	一人あたり単価	人員	一人あたり単価	人員
婚礼部門	▲10.0%	+19.1%	+37.3%	▲40.4%
	一人あたり単価	人員	一人あたり単価	人員
宴会部門	+17.4%	+193.9%	+36.0%	▲52.0%
	一人あたり単価	人員	一人あたり単価	人員

2019年1Q→2023年1Q

営業終了影響 売上高▲9.2億円 (太閤園、Share Clapping Fukuoka 他)

# リゾート事業 1Q概況



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 「箱根小涌園 天悠」のADR、稼働率が上昇し前年比49%増収、2019年比18%増収

### <前年比>

#### 【箱根小涌園 天悠】

- インバウンドの平日利用が増加し稼働率が上昇
- 料理をグレードアップした高付加価値商品の販売等、単価向上施策を継続

#### 【箱根小涌園ユネッサン】

- アニメとのコラボレーションイベントの継続実施やメディア露出を増加させたことにより入場人員が50%増加

### <2019年比>

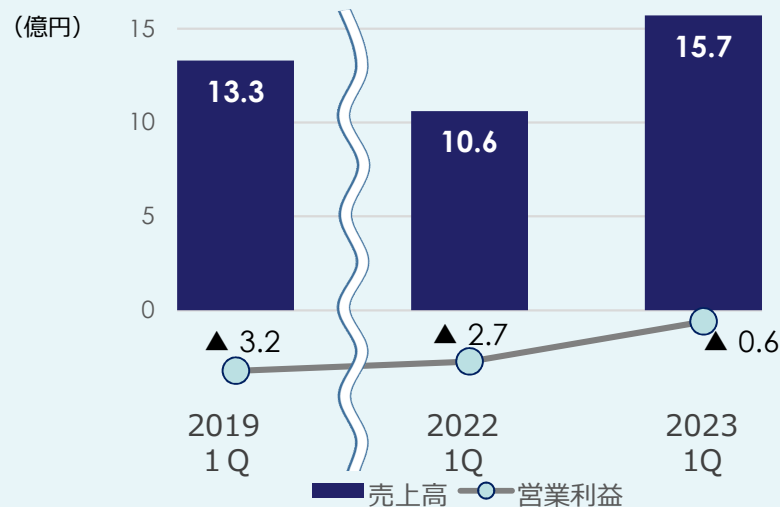
#### 【箱根小涌園 天悠】

- 延べ宿泊者数が国内、インバウンドともに増加

#### 【箱根小涌園ユネッサン】

- 入場人員・人単価は及ばずも、3月単月の入場人員は2019年並みまで増加

### リゾート事業 売上高・営業利益推移



### 営業指標 前年・2019年との対比

1~3月	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
箱根小涌園 天悠	+20.5%	+19.4%pt	+19.5%	+11.3%pt
箱根小涌園 ユネッサン	入場 人単価	入場 人員	入場 人単価	入場 人員
	+6.5%	+50.6%	▲9.0%	▲2.8%

2019年1Q→2023年1Q

新規開業・セグメント変更・営業終了影響 売上高+1.4億円 (藤乃煌 富士御殿場、永平寺 親禅の宿 柏樹関 他)



# 部門別売上高



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 部門別売上高 (1~3月)

(百万円)	部門	売上高実績	前年比	前年比 (%)	2019年比 ※1	2019年比 (%)
W H G	宿 泊	6,512	+3,105	+91.1%	▲915	▲12.3%
	その他 ※2	784	+439	+127.2%	▲728	▲48.1%
ラグジュアリー & バンケット	宿 泊	661	+313	+90.3%	+140	+27.0%
	婚 礼	1,276	+113	+9.8%	▲646	▲33.6%
	宴 会	662	+414	+167.4%	▲609	▲47.9%
	料 飲	730	+192	+35.7%	▲227	▲23.7%
	その他 ※2	387	+54	+16.4%	+44	+12.9%
リゾート	宿 泊	1,243	+405	+48.4%	+271	+27.9%
	日帰り・レジャー	289	+107	+58.7%	+2	+1.0%
	その他 ※2	46	+6	+16.8%	▲32	▲41.0%
参考	宿泊部門合計	8,417	+3,825	+83.3%	▲503	▲5.6%

※1 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績  
 ※2 その他：セグメント間の内部売上を含む

# インバウンドの状況



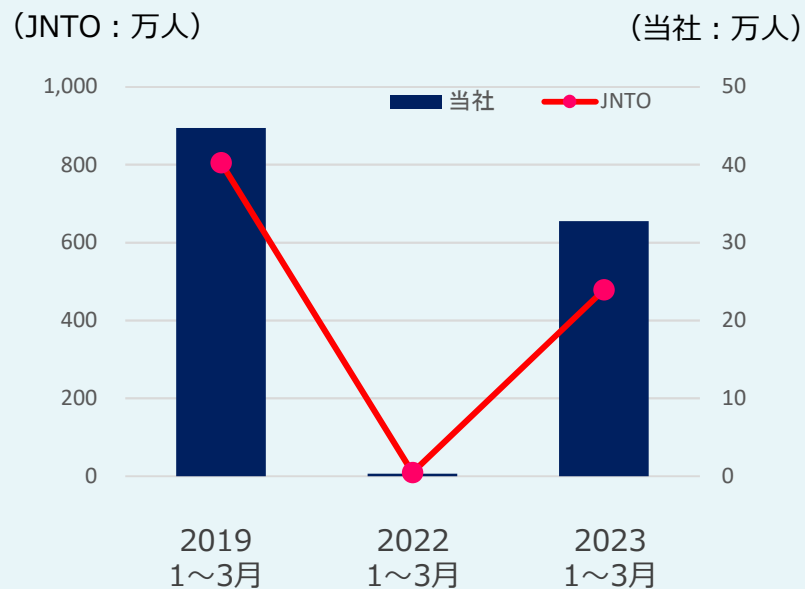
2023年12月期 第1四半期決算説明資料

- ▶3月にインバウンド宿泊者数が急伸し、2019年比▲26.8%まで回復
- ▶国別シェアでは韓国（30%）が最多

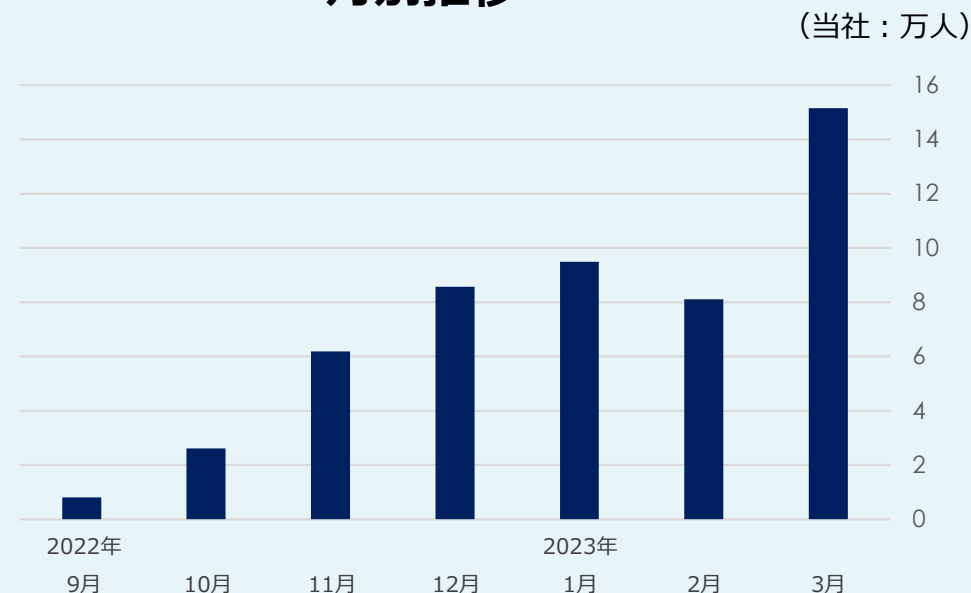
	2023年 1~3月	2019年 1~3月	2019年比
当社インバウンド 宿泊者数	32万人	44万人	▲26.8%
当社総宿泊者数	84万人	101万人	▲15.9%
インバウンド比率	38.5%	44.3%	▲5.7%pt
JNTO	479万人	805万人	▲40.5%

※JNTO（日本政府観光局）2023年4月19日発表 訪日外客数より

## 当社インバウンド宿泊者数



## 月別推移



# 貸借対照表



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

- ▶ 総資産は前期末比47億円減少の952億円
- ▶ A種優先配当金支払い等により資本剰余金が減少した一方、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加し、純資産は前期末並みの228億円

	2021年末	2022年末	当四半期末
純資産	288億円	227億円	228億円
自己資本比率	25.4%	22.6%	24.0%

(百万円)

<資産>	2023年3月	2022年12月	増減	主な増減要因
流動資産合計	26,395	30,947	▲4,551	現預金の減少
固定資産合計	68,809	69,015	▲205	
資産合計	95,205	99,962	▲4,757	
<負債・純資産>	2023年3月	2022年12月	増減	主な増減要因
流動負債合計	26,909	27,321	▲411	借入金返済等による減少
固定負債合計	45,418	49,901	▲4,482	借入金返済等による減少
負債合計	72,328	77,222	▲4,894	
純資産合計	22,877	22,740	+137	A種優先配当金支払い等による資本剰余金の減少 四半期純利益の計上による利益剰余金の増加
負債純資産合計	95,205	99,962	▲4,757	

# 2023年12月期 業績予想



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

## 第1四半期決算、先行予約状況を踏まえ、第2四半期累計および通期業績予想を上方修正

(百万円)	第2四半期累計			通期			<参考>※	
	見直し後 予想	2/14発表 予想	前回予想比	見直し後 予想	2/14発表 予想	前回予想比	2019年 第2四半期 累計実績	2019年 通期実績
<b>売上高</b>	<b>28,800</b>	24,600	<b>+4,200</b>	<b>60,800</b>	56,600	+4,200	33,605	68,960
WHG事業	<b>16,300</b>	13,300	+3,000	<b>33,300</b>	30,300	+3,000	18,394	37,629
ラグジュアリー-&バンケット事業	<b>8,500</b>	7,600	+900	<b>17,900</b>	17,000	+900	11,295	22,949
リゾート事業	<b>3,000</b>	2,700	+300	<b>7,800</b>	7,500	+300	2,681	5,790
その他(調整額含む)	<b>1,000</b>	1,000	-	<b>1,800</b>	1,800	-	1,233	2,590
<b>営業損益</b>	<b>1,100</b>	▲2,200	<b>+3,300</b>	<b>3,700</b>	400	+3,300	▲153	280
WHG事業	<b>1,500</b>	▲1,200	+2,700	<b>3,050</b>	350	+2,700	1,047	2,254
ラグジュアリー-&バンケット事業	<b>450</b>	▲100	+550	<b>1,350</b>	800	+550	▲219	▲84
リゾート事業	<b>▲550</b>	▲800	+250	<b>▲350</b>	▲600	+250	▲634	▲939
その他(調整額含む)	<b>▲300</b>	▲100	▲200	<b>▲350</b>	▲150	▲200	▲347	▲950
<b>経常損益</b>	<b>1,000</b>	▲2,300	<b>+3,300</b>	<b>3,500</b>	200	+3,300	▲64	401
<b>当期純損益</b>	<b>1,600</b>	▲1,700	<b>+3,300</b>	<b>4,100</b>	800	+3,300	▲131	▲285

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績 11

## 箱根小涌園再開発

- ▶2023年7月12日 「箱根ホテル小涌園」開業
- ▶ホテル開業に合わせ「箱根小涌園ユネッサン」もリニューアル



最上階の露天風呂は箱根外輪山を望む絶景



靴を脱いで過ごすことができる  
デラックスルームや和室で  
小さなお子様やご高齢のお客様も  
ゆっくりお過ごしください



ホテル滞在中は何度でも  
ユネッサン・森の湯を利用可能！  
この他、エステや  
デジタル黒板などで遊べる  
キッズスペースも



箱根近郊のご当地料理や  
地元の食材を使った  
ビュッフェレストランで朝食を



屋内の泳げるスパや  
変わりダネ風呂もたくさん！  
屋外エリアには  
大型ウォータースライダーも



水深30cmの  
ボザッピーの湯ウ遊広場は  
小さいお子様も安心



入場無料の立寄りエリアも充実！  
昔ながらの縁日で遊んだり、  
箱根ならではの土産選びも



箱根初の流れるプールで  
さらにアクティブに



庭園露天風呂で  
のんびりと  
貸切風呂も増設



歴史ある建物で  
お蕎麦や鉄板焼きを  
お楽しみください

アウトドアゾーンでは  
手ぶらで楽しめるキャンプ場や  
BBQエリアも拡大！  
一度の滞在では時間が足りない  
くらいのコンテンツや  
サービスをご提供します

# 施設一覧 (2023年5月11日現在)



FUJITA KANKO

2023年12月期 第1四半期決算説明資料

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
<b>《宿泊》 36拠点 10,827室</b>				<b>《宿泊》12拠点 565室 (開業予定1拠点含む)</b>		<b>《宿泊》 1拠点 267室</b>	
<b>■ワシントンホテル</b> (21拠点 6,619室)		<b>■ホテルグレイスリー</b> (11拠点 3,198室)		箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京	267室
仙台	223室	札幌	440室	箱根小涌園 美山楓林	15室	<b>《婚礼・宴会》 3拠点</b>	
新宿 (本館)	1,280室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	マリーエイド (広島県)	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根ホテル小涌園 (2023年7月12日開業予定)	150室	ルメルシェ元宇品 (広島県)	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園 (2023年7月14日まで休館)	50室	ザ サウスハーバーリゾート (広島県)	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌 (2023年7月14日まで休館)	7室	<b>《レジャー》 1拠点</b>	
浦和	140室	京都三条 (北館)	97室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメラアヒルズカントリークラブ (千葉県)	
広島	266室	京都三条 (南館)	128室	Nordisk Village Goto Islands (長崎県)	12室	<b>&lt;レストラン&gt; 2拠点</b>	
キャナルシティ・福岡	423室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】 (山梨県)	26室	<b>その他事業</b>	
会津若松【FC】	154室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室	<b>《宿泊》 1拠点 214室</b>	
郡山【FC】	184室			<b>《レストラン》 3拠点</b>		ISORAS CIKARANG イソラス チカラン (インドネシア サービス・アパートメント)	214室
いわき【FC】	148室	<b>■ホテルフジタ (1拠点 354室)</b>		レストランあかしあ亭 (秋田県)		<b>海外現地法人・駐在員事務所</b>	
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館		上海	
木更津【FC】	146室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館		FC：フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、 当社はブランド使用権の貸与と運営を指導	
燕三条【FC】	103室	<b>■ホテルタピノス(3拠点 656室)</b>		<b>《レジャー》 3拠点</b>		MC：マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営 を受託	
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室	箱根小涌園ユネッサン			
関空泉大津【FC】	151室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
宝塚【FC】	135室	京都	190室	下田海中水族館			
佐世保【FC】	190室						
新宿 (新館)【MC】	337室						

# 会社概要



2023年12月期 第1四半期決算説明資料

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,574株
	A種優先株式 150株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門（お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部

TEL : 03-5981-7727

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。  
また、注記を行っている場合を除き、2023年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。  
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。  
当資料の転載はご遠慮ください。